



トランプ大統領からの 関税 25%に対する書簡



本稿は7月7日にアメリカ合衆国トランプ大統領より日本政府へ発布された、関税に対する書簡の和訳を掲載いたします。

2025年7月7日

親愛なる首相閣下

この書簡をお送りできることは、アメリカ合衆国と日本の貿易関係の強さと継続的な協力を示すものとして、大変光栄に思います。アメリカ合衆国は、日本との大幅な貿易赤字にもかかわらず、引き続き協力を続けることに合意しています。

しかしながら、今後は、よりバランスの取れた公正な貿易関係を前提に進めてまいります。

アメリカ合衆国という世界最大の市場に日本が参加することを歓迎いたします。

日本との貿易関係については長年にわたり議論を重ねてきましたが、日本の関税・非関税政策および貿易障壁に起因する恒常的な貿易赤字から脱却する必要があるとの結論に至りました。両国の関係は残念ながら互恵的とは言えません。

その為、2025年8月1日より、日本からアメリカ合衆国へ輸出されるすべての製品に対し、セクター別の関税とは別に一律 25%の関税を課します。

より高い関税を回避する目的の為、第三国経由で輸送された（迂回輸出）商品には、本来の（より高い）関税率が適用されます。なお、25%という数字は、我々の貿易赤字を是正するには不十分であることをご理解ください。

日本または日本国内の企業がアメリカ国内で生産を行う場合には、関税は課されません。アメリカ政府としても、迅速かつ専門的に承認手続きを行う用意があります。つまり、数週間以内に通常通りのプロセスで対応するという意味です。



もし日本政府が関税を引き上げる場合には、その引き上げ分もアメリカ合衆国が課す 25%に上乗せされます。

これらの関税措置は、長年にわたりアメリカ合衆国にとって持続不可能な貿易赤字をもたらしてきた日本の政策を是正するために必要な措置です。

この赤字は、アメリカ合衆国の経済だけでなく、国家安全保障にとっても重大な脅威となっています。

私たちは、貴国との長期的な貿易パートナーシップの実現に向けて協力できることを楽しみにしています。

これまで閉ざされていた貴国の貿易市場をアメリカ合衆国に開放し、関税や非関税措置、その他の貿易障壁を撤廃する意思があるのであれば、本書簡に記載した関税について再検討する可能性があります。

これらの関税は、貴国との関係性に応じて引き上げまたは引き下げられる可能性があります。アメリカ合衆国との関係に失望されることはありません。

以下は原文のスクリーンショットです。

